



(No. 1) 足羽高等学校



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	一切なりゆき ～樹木希林のことば～	樹木希林	文春新書	880 円

推薦図書の説明

2018年に永眠された平成の大女優・樹木希林さんが残した「ことば」です。語り口は平明ですが、ひとつひとつにユーモアがありポジティブで、説得力を持って優しく語りかけてきます。これから多くの考え方に触れていく高校生諸君にも、彼女の「ことば」に一度耳を傾けてみてください。もしかしたらあなたの心にも響く「ことば」があるかもしれませんよ。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新潮社	1,485 円

推薦図書の説明

英国の人種差別、ジェンダー問題、貧困格差等の問題を、中学生の息子の日常を通して著者である母親の視点で描いたエッセイ。単に息子の成長記録というようなものではなく、家族でこれらの問題について考える大切さを教えてくれます。異国の話としてではなく、私たち一人ひとりの話だと思って読んでみてください。



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【3】	地獄の楽しみ方 17歳の特別 教室	京極夏彦	講談社	1,320円

推薦図書の説明

「極楽よりも、地獄のほうが面白いんです。」小説家として日々「言葉」と向き合っている京極氏が、どう向き合っていけば良いのか助言してくれる。実際の15～19歳の聴講生へ向けての講演を本にしたものであるため、親しみやすい内容である。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【4】	阿Q正伝・藤野先生	魯迅	講談社文芸 文庫	1,430円

推薦図書の説明

『藤野先生』は、周樹人（後の魯迅）が仙台留学時代に出会い、生涯の師と仰ぐ藤野厳九郎（中国で最も有名な福井県人）との思い出を書き綴ったものです。また、藤野先生の素朴で誠実な人柄と、国籍や立場の違いを超えた人間関係のあり方が描かれており、国際社会の将来を担う高校生の皆さんに是非読んでほしい名作です。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【5】	通訳になりたい！ゼロから 目指せる10の道	松下佳世	岩波ジュニア 新書	902 円

推薦図書の説明

外国語を学ぶ若者は、まず通訳者になりたいと考える人が多い。本気でその道を目指すにはどうしたらよいか。本書には、10ジャンル10人の通訳者が「なぜ通訳という仕事を選び、どのようにして通訳者になったか」について書いてある。みなさんも通訳の仕事の魅力を知り、学びの選択肢を広げてみてはどうだろう。